

組合だより

第 1 1 2 号
1 2 月 4 日
2 0 0 7 年

発行所 岡山大学職員組合
〒700-8530 岡山市津島中 2-1-1
電 話 086-252-1111 (代)
(内線) 7168
直通・F A X 086-252-4148

岡山大学職員組合ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/>メールアドレス ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp

団体交渉 (10月31日) 回答

“ 12 月期の勤勉手当全職員に 0.02 ヶ月上乗せ ”

人勤関連の申し入れに対して、当局は、組合側に対して 人事院勧告の 4 月遡及実施、 勤勉手当の全職員に 0.02 ヶ月上乗せ、 勤勉手当成績優秀者枠を 32% とする、と回答しました。組合側は、この回答を諒解するとともに、人件費剰余金 2 億円 (18 年度) について期末手当のさらなる改善に利用できるのではないかとの見解を表明しました。



10月31日、組合は、大学当局に対して、今回の人勤の即時実施を求めて、団体交渉を行いました(組合だより111号参照)。

これに対して、大学側は、およそ次のような内容を回答しました。

1. 人事院勧告の実施については、閣議決定に従い、給与法の改正を待って法人の給与規則を改正する。常勤職員の給与の改定は4月に遡及し、非常勤職員の場合は契約上来年度給与から反映させる*。
2. 2007年12月期の勤勉手当について、いわゆる新陳代謝等を考慮し、全ての職員の成績率を0.02ヶ月上乗せする。成績優秀者の枠は32%とする。

これに対して組合は、とりあえずこの回答を了承するとともに、次のような意見を表明しました。

法人の18年度決算によれば、岡山大学職員のラスパレス指数(対国家公務員)は前年度より低下しており、他方、人件費繰越額が剰余金として2億円あまり発生している。これらの点から今年度人件費の収支見通しを判断すれば、勤勉手当の更なる改善が可能と考えられる。

26日開催の執行委員会では、この交渉結果に

関連して、人件費を次年度に目的積立金として繰り越す場合には、その用途は物件費に限定され、人件費に充てられることはないということが明らかにされました。

人件費を節約してまで特別の企画をするというのであればともかく、もし特に何も無いのに、漫然と人件費を節約するというのであればそれはどうということなのか、大学側に強く説明を求める必要があるという意見が出されました。執行部は来年度以降の教訓にしたいとしています。

(* 非常勤職員の4月遡及については前向きに検討中であることがその後伝えられています。)

非常勤職員待遇改善要求書を提出

組合は、近日中に、大学側に非常勤職員待遇改善の要求書を提出することとしました。

来年4月から、改正パート労働法が施行され、これに伴って、非常勤の常勤化が促進される可能性が高まっています。大学側も11月15日事務職員登用試験実施のための要項を制定しました。

これによれば、試験は「小論文・個別面接」であり、実情に即したものとなっています。組合としては、これを歓迎するとともに、常勤化が単なる「欠員補充」に終わらないよう求めています

医大懇に参加して

歯学部：小河達之

11月3日4日神戸大学医学部附属病院にて医大懇が開催されました。

今回岡大は第4分科会の保育所問題でレポート提出が行われ、3日は保育士さん3名、4日は保護者代表1名が参加してくださいました。



小河は藤田全大教副委員長と共に分科会の総括を担当させていただきました。

保育所の分科会では、7大学15名の参加があり、1日目 岡山・鹿児島・神戸、2日目 大阪・熊本・名古屋からのレポート発表、また徳島から積極的な意見がありました。

今回の内容を大きく総括すると「法人化以降、運営主体が教職員から、当局中心になっている」点があげられます。これまで職員組合や保護者中心の声で作られていた保育所は、法人化以後は、中期計画の評価ポイントになり、男女共同参画・次世代支援・女性研究者（医師）の活用・看護師募集の大きなPRポイントとして各大学当局も必要性を認めています。



その運営においてはどの大学も「経費の問題」という大きな問題をかかえ、外部補助などで設置を計画しても、補助期間の終了後の計画が空白であったり、また安易な

外部委託などで無駄なコンサルタント経費を計上したりと、各大学とも対応はまちまちで大いに考えさせられるものでした。

また、教職員を対象とした保育所には21世紀財団などの外部資金がつくが、これに学生（学部・大学院）の子供が入ると補助を受けにくくなるという指導を受けた例もあり、社会人学生の受け入れなども考慮した運営方法も大学としては検討する必要があるのではないかと個人的には思いました。

一部外部委託・完全外部委託・認可園（社会福祉法人の設立）・NPOによる運営・組合を含めた運営委員会方式など各大学運営方法は様々ですが、「保育所は大学の業務を継続する上で必要である」という点は一致しており、今後とも情報の交換が必要であると感じました。

医大懇・保育所問題分科会に参加して

11月4日、神戸大学医学部附属病院で行われた医大懇・第4分科会（保育所問題）に参加致しました。

私自身が附属病院院内保育所「なかよし園」に子供を預けており、また保護者会役員としてより良い保育所づくりを目指して活動しているため、他大学の保育所をめぐる動きについて当事者から直接話を伺えることは非常に興味深く、有益な情報を収集することができました。

参加した大学の報告や質疑応答などから、各大学とも優秀な職員を確保するための重要な手段として保育所整備に取り組んでいることが分かりました。しかしその検討を大学トップや事務レベルのみで進めてしまっているため、見えてきた新たな保育所像が、現在の学内保育所利用者や職員の望む保育所とは程遠い形になってしまっているという大学も複数見られ、非常に驚きました。これは大学側が、「保育所整備」を単に「子供を預ける場所の確保」としてしか考えていない、ということの表れではないでしょうか。各大学とも、現場の保育士さん達は皆、常に子供にとって良いことは何かを一番に考え、情熱を持って保育にあたっておられます。そして利用者は皆、大切な我が子を預けるのですから、その保育方針や保育士の質、安全面といった「中身」を重視しています。そういった現場の実態を無視し、保育のプロである保育士や利用者側の意見を聴こうともしない大学側のやり方に、参加者は皆強い憤りと無念さを口にしていました。



私達のなかよし園でも昨年度からより良い運営やあり方について検討を行っていますが、その責任者である森田病院長は、保育士や保護者といった現場の声を尊重してくださ



っており、非常にありがたいことであると改めて感じました。また、民間企業への保育の業務委託が最近の流行のようになっていますが、利益を上げねばならない業者に委託すれば大学側の支出増加は必至で、その結果保育料は値上がりし、保育の質は低下する、よって業務委託を安易に行うことは避けるべきであるという意見が出され、大学直営の保育所として存続させた方が子供や利用者にとってはるかに良いというのが、参加者の一致した見解でした。

多くの衝撃的な話を耳にした今回の参加でしたが、得られた情報を最大限に活かしながら、全国へ誇れる理想の事業所内保育所実現を目指してこれからも頑張ろうと決意を新たにしました。

（野田恭子）

映画「日本の青空」を観て

村上 賢治



10月20日に岡山市で上映された「日本の青空」を観てきました。

この映画は、憲法学者である鈴木安蔵氏を主人公に、戦後日本のいわば夜明け前である、日本国憲法誕生の前夜を描いた作品です。恥ずかしながら、私はいままで鈴木安蔵という名前すら知らず、この映画を観て初めて、何を成し遂げた人物かを知りました。

以下、映画のあらすじをなぞりながら感想を書きます。

まず、現代の若者として、出版社に派遣社員として勤める女性が登場します。「日本国憲法の原点を問う」という企画で、いままでにない切り口の記事が求められます。それで行き着いたのが、



母から聞いた鈴木安蔵という名です。

時はさかのぼり 1920年代半ば、鈴木安蔵が京都大学在学中に労働運動を行い、逮捕されるところから始まります。一緒に警察から逃げる恋人(後の妻)は、大正時代のモガ(モダン・ガール)の服装です。このことから、鈴木安蔵が大正デモクラシーの空気を吸って成長した世代であることが想像できます。そして鈴木安蔵は治安維持法違反の第1号として、3年間投獄されます。獄中でも勉強を続け、出所後も、戦争が終わるまで定職に就かず、ひたすら憲法の研究と著作に励みます。この時の多くの著作が、米国でも紹介され、後に鈴木安蔵らの憲法案に対するGHQの高い評価につながるのでしょう。

1945年、敗戦となります。新しい日本にふさわしい新憲法をつくろうという気運が知識人の間で高まります。明治時代の自由民権運動や、大正デモクラシーの時代を生きてきた知識人がまだ現役だった頃です。その一人である高野岩三郎は、憲法研究会を立ち上げ、41歳の若い在野の憲法学者である鈴木安蔵を、新憲法作りの中心人物として大抜擢します。鈴木安蔵は、明治の自由民権運動における植木枝盛らの思想や、ヨーロッパ諸国の憲法など、これまでの研究と思索の成果をもとに、渾身の力をこめて草案を作ります。何度も会合で議論を重ね、案を練り、政府とGHQに提出します。

新憲法草案を作り上げるところが、この映画の山場です。まず、国民主権と基本的人権が強く打ち出されます。現代に生きる私たちが当たり前のことと考えることが、当たり前ではなかった時代なのです。

次に軍事条項についてですが、300万人以上が戦争で亡くなり、いたる所が焦土と化した時、再び戦争をするなどとは誰も考えられなかった、そのことから、軍事条項をあえて書かない、という形で平和主義が打ち出されます。

新憲法草案に対する政府の反応は冷たいものでしたが、GHQは民主的な憲法案であるとして高く評価し、それを大いに参考にして憲法案が作られています。この過程で、非戦の誓いを込めた憲法九条が作られます。

GHQの民主的な憲法案に対し、政府は保守的な憲法案を出して強く抵抗します。しかし、政府側が頑強に主張したのは主として天皇制の護持であり、憲法九条の平和主義は、実は、ほとんど抵抗なく政府は受け入れたのです。

新憲法作成についての最後の詰めでは、GHQ側と、天皇制を護持しようとする松本烝治ら日本政府側とが激しく対立、松本が退席し、英語に堪能な白州次郎が残ってGHQ側と憲法を作り上げます。その会議の場で、女性の権利や家庭に関する条項を作成した若くは22歳のベアテ女史が、少女時代の10年間を日本で過ごした経験から、日本女性がいかに虐げられてきたかを涙ながらに訴えます。このことは、鈴木安蔵の妻が、言いたいことが言えず乏しい収入の中で夫を支え、娘を育ててきたことと重なっていきます。男女同権が新憲法にうたわれていることを何よりも喜んだのは、当時の日本女性たちだったでしょう。



新憲法が国会で承認されます。第九条について、「一切の軍備と国の交戦権を認めず、自衛権の発動としての戦争も放棄する。そもそも近代の戦争は全て自衛の名の下に行なわれたのである。」という吉田首相の説明も、拍手を持って賛同されます。そして公布の日、平和で民主的な世の中になったことを喜ぶ国民に、日本国憲法は万雷の拍手喝采をもって迎えられるのです。

この映画では、日本国憲法は、GHQの押しつけなどではなく、平和で真に民主的な世の中にしたいという人々の強い願いと、長年にわたるたたかいの中で生まれてきたものであることを静かに訴えています。日本国憲法を変えてはいけないと思う人も、変えた方がいいと思っている人も、原点に戻って考えてみるという意味で、この映画を観てほしいと思います。

組合だよりの原稿大募集！！



採用されたものには、謝礼を差し上げます。

事務職員のみなさんへ

アンケートにご協力下さい！！

全国大学高専教職員組合は、より良い大学づくり、賃金・労働条件改善、地位向上の運動に生かすためアンケートを実施しています。



皆さんのお手元にアンケートが届きましたら、是非ご協力下さい。締切は、12月20日です。アンケートに記入されましたら、添付の封筒を利用して学内便で組合事務所までお送り頂くか、郵送でお送り頂くか、各学部の組合の連合体執行委員の指示がある場合は、それに従って下さい。よろしくお願い致します。

書記研修に参加しました

10月12日～13日、鹿児島にて開催された全大教九州、中国四国ブロック書記研修に参加しました。研修内容は、「大学教職員の労働条件と過半数代表者の役割」「人事院勧告を学習する」でした。大学側と交渉することのできる組合の重要性を再確認しました。また「団体交渉、勤勉手当」「裁量労働制」「非常勤職員の3年契約」「保育所」「入試手当」「資金繰り」などの情報交換をしました。

法人化後3年契約の非常勤職員の方で、学科として貴重な人、是非とも続けて欲しい場合は、所属長の同意で契約を延長することができることとした鹿児島大学、パート職員のボーナス要求をしていく熊本大学の話が、印象深かったです。



(富屋食堂)

翌日、知覧に行きました。特攻隊員さんたちがよく食べに来たという富屋食堂は復元され、私の息子たちより幼い顔のまだ少年のような彼らの写真やエピソード、両親や妻や恋人に当てた手紙を読みながら胸が裂かれる思いでした。世界中から争いがなくなり、平和になることを強く祈りました。(岡本一代)

単組だより <農学部>

実りの秋、今年も農学部では「イモ掘りいいかも」のキャッチフレーズのもと芋掘りを楽しみました。あついほどの太陽がさんさんと輝いた秋晴れの10月6日、土曜日。集合したのは、大人54人、子供46名のちょうど100人の組合員。



いろんな部局から大勢の方があつまって、農学部のフィールド・サイエンスセンター(以前の農場です)にて芋掘りを楽しみました。掘ったイモはぜんぶで160株。たくさんサツマイモのついている株や、大きいイモのついているのやら。わいわいとみんなで楽しくサツマイモを掘りました。

イモ掘りの合間には、ジュースやお菓子が配られ、組合員どうし、また家族どうしの懇親も深めることができました。今年は、記念品として、粉末洗剤もお持ち帰りいただきました。イモ掘りで汚れた服は、この景品で洗濯してください。

フィールドサイエンスセンターのみなさんにもご協力いただきありがとうございました。さあ、農学部では来年の収穫の秋に向けてまた準備をいたします。来年もイモ掘りを楽しみにしてくださいね。

組合員勧誘のキャッチコピー

大募集！！



来年入学期に向けて、連合体は、組合員勧誘キャンペーンに取り組みます。

そこで、組合員勧誘のキャッチコピーを募集します。

採用された方には、謝礼5000円を支払います。奮ってご応募下さい。